

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成29年5月)

～現状判断DIはインバウンド効果等で5か月ぶりに上昇～

- 景気ウォッチャー調査・5月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が5か月ぶりに上昇、先行き判断も2か月連続の上昇となった。(なお平成28年10月調査より、内閣府方針に基づき各指数を原数値から季節調整値に変更)
- 足元の景気については、消費者の節約志向は続いているものの、インバウンドによる消費が概ね堅調に推移したほか、今年のゴールデンウィークは日並びが良く、天候にも恵まれたことから、人の動きも活発となった。ただし、連休後は一部でその反動がみられる。
- 一方、先行きについては、依然として北朝鮮情勢に関する不安の声が多いなど、不透明な状況に変化はないが、今夏が猛暑となる予想があることから、季節商品の販売増加への期待が高まっている。また、インバウンド関連についても堅調に推移することが予想されている。
- なお、プレミアムフライデーに関しては、今月は現状、先行きともにまったく言及がなかった。2月のスタートから4か月が経過したが、消費者の盛り上がりになかなかつながらない中で、企業側の関心も薄れる一方となっている。

「インバウンド」関連のコメント(現状判断・家計関連)

やや良くなる	百貨店(売場主任)	・気温の上昇によって衣料品が好調に推移している。インバウンド景気に加えて、高額品も好調に推移し始めている。
	百貨店(企画担当)	・外国人売上について、今年1月以降は前年比30%増で推移していたが、今月は50%増となっている。客単価は変わらないが、化粧品を購入を目的とする客が今月
	百貨店(営業担当)	・前月と同様に、入店客数の増加傾向が続いているほか、これまで伸び悩んでいたボリュームゾーンの婦人服や婦人洋品、婦人靴の動きが良くなってきた。また、インバウンド客数、売上共に、継続して伸びている。
	百貨店(商品担当)	・都心店舗を中心に免税売上が好調を維持しており、特に、化粧品を中心とした婦人洋品は顕著な動きとなっている。また、菓子を中心とした食品は、催事、店頭共に好調で、こちらはインバウンドに偏らず、幅広く購入されている。
	都市型ホテル(スタッフ)	・インバウンドによる宿泊の増加は継続している。客室単価も高止まりのまま推移しており、周辺企業からも、出張での宿泊手当での上昇はやむを得ないとの声が聞かれる。さらに、食堂は朝食が好調で、若干の値上げもあり、大幅な増収となっている。法人宴会も不安定ながら前年を上回っているなど、全部門で収入増となっている。
変わらない	百貨店(売場主任)	・販売促進策の成功やインバウンドの好調で、今月も売上目標は達成の見込みであり、前年比で2けた増と好調に推移する予定である。ただし、好調な商材は限られており、化粧品や特選洋品に集中するなど、安定した内容とは言い難い。国内の商圏では、客の消費に対する慎重な姿勢に変化はなく、依然として厳しい状況である。
	百貨店(宣伝担当)	・インバウンド売上は引き続き、前年比で50%以上の増加と好調ながら、それを除く足元の動きは微減である。特選品、宝飾品など的高額品や、雑貨、食料品は好調であるが、ボリュームの大きな衣料品は苦戦が続いている。
	百貨店(サービス担当)	・天候に恵まれて来客数が増えたほか、新企画の食料品の催事などが好調となり、前年の実績と、今年の売上目標はクリアできそうである。また、インバウンド効果も好調に推移し、前年実績の約2倍で推移している。特に、化粧品を中心とした婦人洋品の売上が、好調に推移している。
	百貨店(マネージャー)	・店全体の店頭売上は、前年比で2.3%増となっている。内容はこれまでの傾向どおり、化粧品が35%増、特選衣料が13%増とけん引している。特に、訪日外国人の売上は、化粧品が160%増、特選衣料が170%増と前年を大きく上回っている。一方、中間層による婦人服、紳士服関連の購入は、引き続き前年を下回っており、来客数は前年を1～2%上回っているものの、客単価が2～3%低下している。

家計動向関連	変わらない	百貨店（役員）	・都心部の百貨店はインバウンド需要が増えてきているが、地方にはその影響がほとんどない。化粧品や雑貨、食品などの生活関連の商品は売上が伸びているが、衣料品、特に婦人服は以前ほど落ち込んでいないものの、伸びてはいない。衣料品が不振の要因は、インターネット通販の増加か、単価の高さや買い控えの影響か、販促策不足のせいかな、はっきりとは分からない。
		百貨店（外商担当）	・インバウンド売上がかなり好調で、店全体の売上を支えているものの、それを除けば前年並みの売上である。依然として、婦人服の売上は前年を下回る状況が続いている。
		百貨店（マネージャー）	・全体的に天候に恵まれたほか、日並びの関係でゴールデンウィークと母の日の間隔が空いたため、ギフトの動きが予測よりも比較的良好。また、ファッションの夏物商材も堅調に動いている。インバウンド需要も、3月以降は消耗品を中心に好調である。
		観光型旅館（経営者）	・外国人客による問い合わせが減っている。
		都市型ホテル（支配人）	・花見シーズン、ゴールデンウィーク、歓送迎会などの動きは、例年とほぼ変化がない。インバウンドも数年前に比べると減少傾向にあり、売上は横ばいである。
		都市型ホテル（管理担当）	・宿泊は好調に推移し、上向き傾向であるが、宴会部門は、婚礼を含めて下向きである。また、宿泊に関しては、外国人宿泊客に勢いがあり、団体利用から個人利用に変化してきている。

「北朝鮮を含む世界情勢」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	やや良くなる	百貨店（マネージャー）	・北朝鮮や国際的過激派組織によるテロなど、国際情勢は先行き不透明であるが、猛暑の長期予報による夏物消費の好調、インバウンド消費の反動増、富裕層の顧客による宝飾品や金製品といった、資産保全商品への需要増などが予想される。春先とは異なり、消費の潮目が良い方向へ動いていると感じる。
		旅行代理店（役員）	・世界の社会情勢は不安要素であるものの、ある程度はエリアも想定されているため、観光需要は増える。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・経済を含め、世界情勢の非常に不安定な状況が続いている。今後、株価、為替変動の大きなリスクがなければ、インバウンドの好調が続くなど、現状の状態は続くと考えられる。ただし、国内客の需要は、所得が増加する要因に乏しいほか、将来への不安もあり、現状よりも改善するとは考えにくい。
		百貨店（宣伝担当）	・世界情勢の変動によって、顧客の動きが左右される状況が続いている。インバウンドを中心とした新しい客が増える一方、既存の国内客、特に中間層と65歳以上の客の低迷が続いており、予断を許さない状況が続く。
		百貨店（外商担当）	・海外の政情不安も依然として続いており、国内の株価上昇が期待できる状態ではないので、富裕層による高額品の購買意欲が伸びない。
		百貨店（商品担当）	・商品別の好不調はあるものの、総じて改善している。ただし、インバウンド需要の影響が大きく、安定感には疑問が残る。米国やフランスのほか、アジアの政情も不安定で、テロの不安もあるため、景気の推移は安定感に欠けると予想される。
		百貨店（マネージャー）	・大きな改善要素が見当たらないなか、堅調な消費動向は続くと思われる。今後は購買チャネルが多様化し、買い回りから見回りへと変化するが、その際に新たな体験を提供するような売り方がカギになる。心理的な部分では、北朝鮮の動向が注目される。
		スーパー（店長）	・北朝鮮問題や米国の政治に対する不安もあり、消費者の生活防衛意識は高く、更にディスカウント業態へシフトする傾向が強まる。
		コンビニ（広告担当）	・国内外で不安なニュースが毎日のように流れている。国会では、国民生活の改善に関係のないテーマが議論され、海外では米国大統領や北朝鮮問題のほか、国際的な過激派組織などの不穏な動きが続いているため、良くなるよりも、変わらないか、悪くなる不安の方が大きい。
		乗用車販売店（経営者）	・海外経済の動向による影響が不透明である。
くやなる悪	観光型旅館（管理担当）	・米国大統領による政策の迷走や、北朝鮮のミサイルに対する社会の不安感が、消費を鈍らせる。	
企業動向関連	やや悪くなる	金融業 [投資運用業] (代表)	・北朝鮮情勢の先行き、株価の停滞など、良くなる材料がゼロである。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 15					16					17														
		月 5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
現 状 判 断	近畿	51.8	53.2	51.5	51.9	51.7	53.1	49.8	49.9	48.3	45.4	40.3	41.1	42.1	40.0	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9	50.1	48.3	47.9	50.1
	(全国)	51.6	51.0	50.3	50.2	48.8	50.7	49.3	49.0	47.6	44.1	42.0	40.6	41.7	41.2	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4	48.1	48.6
先 行 き 判 断	近畿	53.7	54.0	53.7	49.0	50.2	51.1	48.9	48.8	47.2	47.0	46.1	46.2	46.7	41.1	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8	50.6	48.6	49.7	51.5
	(全国)	52.4	52.4	51.7	49.5	50.1	50.7	50.5	50.0	49.1	46.4	45.7	43.7	45.4	40.5	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1	48.8	49.6